

感染症情報 6月5日～11日

府下小児科191医療機関(堺市19)から

①感染性胃腸炎	906例(堺市	82例)
②ヘルパンギーナ	891例(堺市	131例)
③RSウイルス感染症	621例(堺市	77例)
④溶連菌感染症	520例(堺市	58例)
⑤咽頭結膜熱	170例(堺市	14例)

府下290医療機関(堺市29)から

インフルエンザ 202例(堺市 22例)

前週比5.5%増の3,302件の報告数であった。感染性胃腸炎が府下で前週比15%減、堺市で前週105例→今回82例であった。ヘルパンギーナが府下で57%増、堺市で68例→131例であった。定点あたりは府下が2.95→4.66で、堺市は3.58→6.89(警報レベル基準6を超えた)。RSウイルス感染症が府下で3%減、堺市で55例→77例であった。定点あたり大阪府が3.34→3.25、堺市が2.89→4.05。溶連菌感染症が府下が1%減、堺市で前週57例→今回58例。咽頭結膜熱が府下で18%増、堺市で前回6例→今回14例であった。

インフルエンザが府下で前週212例→202例で5%減、堺市で前週26例→今回22例であった。定点あたり大阪府は0.73→0.70、堺市で0.90→0.76であった。

府下290医療機関(堺市29)から

新型コロナウイルス感染症 1,256例(堺市 152例)
大阪府定点 4.33 堺市定点 5.24

大阪府の年齢層別の報告数											
0歳	1歳から4歳	5歳から9歳	10歳から19歳	20歳から29歳	30歳から39歳	40歳から49歳	50歳から59歳	60歳から69歳	70歳から79歳	80歳以上	合計
35	67	102	267	157	113	133	128	93	85	76	1256

新型コロナウイルス感染症の定点報告は、大阪府で前週968例→今回1,256例で30%増、定点あたり3.33→4.33に、堺市は前週117例→今回152例で30%増、定点あたり4.03→5.24であった。5類感染症に移行後、4週連続で増加している。

麻疹や風疹の報告はなかった。